

## 第22回 聞き書き甲子園

聞き書き甲子園は、全国の高校生が農山漁村に暮らす「名人」を訪ね、その知恵や技術、生きざまを「聞き書き」する活動です。

名人推薦と高校生の受け入れに協力する地域（市町村）を毎年公募し、各地域が推薦する複数人の名人を、高校生は一つ一つで訪問し、「聞き書き」します。伊那市は、関係人口の創出、高校生が伊那市の自然と生業を知り、またこの取り組みによって住民の方々にも改めて関心をもつきっかけとなるよう、高校生の受け入れ市町村となっています。



夏の事前研修では「聞き書き」の手法について学ぶ

### 実施期間：

令和5年

9～11月

高校生が2回取材を行い、聞き書き作品を作成します。

高校生が自ら名人と日程調整をし、自宅から名人宅まで公共交通機関を使い、訪問します。

12月

作品の完成



名人を訪問し、一対一で話を聞く

令和6年

3月25日（月）成果発表会（会場：国際オリンピック記念青年少年総合センター）の開催。大臣賞受賞の名人藤原氏、宮原氏は登壇します。

5月5日（日）

「高校生と語る～伊那の生きる知恵や技術」

（伊那市成果発表会）開催を予定しています。



名人は造林手、木工職人、漁師などさまざま

### 聞き書きとは：

聞き書きの基本は、一対一のコミュニケーションです。高校生は、名人との対話をすべて録音し、その言葉を一語一句書き起こし、名人の言葉だけを使って、その語り口を活かした作品をまとめていきます。

高校生は、聞き書きをとおして、名人の生きざま（人生）を受け止めます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る名人の思いに少しでも応えたいと、里山里海の保全活動や地域活性化などに取り組む卒業生の活動も生まれました。

聞き書きは、祖父母の世代から孫の世代へと、生きる知恵や心をつなぐ活動です。キャリア教育やESD（持続可能な開発のための教育）の事例としても高く評価されています。



【主催】聞き書き甲子園実行委員会

（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人 国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク）

【伊那市担当】地域創造課 地域振興係

## 伊那市の名人と高校生の組み合わせ（50音順）

1. 作品名：原木しいたけ栽培の苦労と課題  
名 人：赤羽 潔氏（原木しいたけ栽培）  
高校生：佐久間<sup>さくま</sup> 琉惺<sup>りゅうせい</sup>（埼玉県立小川高等学校 1年）
2. 作品名：伝統の味噌づくりを続けたい  
～39年女の人で運営した加工所。新しいアイデアで未来に引き継ぐ～  
名 人：池上 市子氏（味噌づくり（伝統的な製法による発酵食品））  
高校生：櫻井<sup>さくらい</sup> 佳代<sup>かよ</sup>（国際基督教大学高等学校 1年）
3. 作品名：過去から未来へ食の橋を繋げる  
名 人：酒井さつき氏（郷土食伝承家）  
高校生：新島<sup>にいじま</sup> のどか（群馬県立尾瀬高等学校 2年）
4. 作品名：足踏み 石踏み 虫踏み漁 ～伊那だけに残る幼虫を食べる文化～  
名 人：中村 昭彦氏（ざざむし漁）  
高校生：小嶋<sup>こじま</sup> 涼香<sup>すずか</sup>（神奈川県立川和高等学校 3年）
5. 作品名：なんとも可愛いマツタケ  
名 人：藤原 儀兵衛氏（まつたけ）  
高校生：成田<sup>なりた</sup> 和香<sup>のどか</sup>（国際高等学校 2年）  
**【農林水産大臣賞】**
6. 作品名：明日への器  
名 人：宮原 勝氏（木工ロクロ・漆塗り）  
高校生：西田<sup>にしだ</sup> 空麗<sup>そうら</sup>（金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 2年）  
**【環境大臣賞】**
7. 作品名：蜂追いが繋ぐ縁～山の宝を求めて～  
名 人：山口 政幸（すがれ追い）  
高校生：高橋<sup>たかはし</sup> 葵<sup>あおい</sup>（神奈川県立金沢総合高等学校 3年）